

2015年第2回 IEEE Fukuoka Section 理事会議事録
(2016年1月30日 2016年第1回理事会にて承認済み)

文責 Secretary 井上弘士

日時：2015年6月13日(土) 12時～14時

場所：九州先端科学技術研究所（九州先端研 ISIT）会議室

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1番22号

福岡 SRP センタービル7階

<http://www.isit.or.jp/ISIT/access.html>

議題と議事録

1. 前回議事録の確認

井上 Secretary より前回の議事録の確認が行われ、原案どおり承認された。

2. JC 理事会報告

勝木 Vice-chair より JC 理事会の報告が行われた。主な報告内容は以下の通り。

- 最近の円安基調のため、JC 予算の繰越が大幅に増える見込であることから、今年に限って支部拠出金の10%を支部に還元することになった。
- IEEE Region 10 Student Congress への日本からの参加を促したいとの報告があった。
- 2014年度に学生支部の新設が無かったため、設立に向けた強い要請があった。特に、学生会員の多い大学（九工大、九大、長崎大、特に九大は多い）にて検討して欲しいとのこと。→本理事会で審議し、継続して検討することとなった。
- Industry Promotion Committee から、IEEE として企業との連携を進めたいという意向である旨の報告があった。IEEE 会長らが日本を訪問、などの活動がある。
- Long Range Strategy Committee より、JC の活動への「若手参加施策の策定」が新しいテーマとして設定されたとの報告があった。若手参加を促進する最大の目的であり、それに基づく具体的な施策を定める

必要があり、今後の重要な議論点になる。

- HISTELCON2017 の日本開催に関する話題提供があったが、確定した情報が不足するため否決された。

3. 連合大会委員会報告

井上 Secretary より連合大会委員会に関する報告が行われた。主な報告内容は以下の通り。

- 平成 27 年度は 9 月 26～27 日、福岡大学にて開催。重要な日程は、講演申し込み 6 月 15 日～7 月 14 日、原稿受付 6 月 15 日～8 月 5 日、聴講事前申し込み／追加 CD-ROM 事前申し込み 6 月 15 日～8 月 7 日。
- 講演者は原則主催学会会員であり、講演申し込み時に正規の会員番号が求められる（昨年度と同じ）。参加費について、主催学会会員かつ講演者は 4,000 円。非会員も講演可能であるが、参加費は 8,000 円となる。
- IEEE が関連する主なセッションは「国際セッション」であり、AP/C/PHO Society が企画。2 件の招待講演を予定。
- プログラム編集会議は 7 月 22 日。座長割り当てを含むプログラム確定まで、各学会から問い合わせ窓口を 2 名選出する必要がある。IEEE では、井上 Secretary ならびに 北須賀 Student Activities Committee Chair が対応することになった。
- 峯先生@九大より、連合大会中に BLE (Bluetooth Low Energy) を利用した位置情報サービス試供と、実験後のプレスリリース配信についての許可願があった。対象は運営側のみであり、各自の判断で専用アプリをダウンロードし協力することとなった。

4. 支部活動状況報告

事務局（牛島）より活動状況の報告があった。本理事会を含めて 10 件であり、本部からのボーナス支給のためには 11 月頃までに少なくともあと 3 件を登録する必要がある（1 月末に入力するとカウントして貰えないことがあるため）。なお、連合大会は活動として例年いれていない。金額的な規模が大きくなると特別な手続きが必要となり、処理が煩雑になるため。

→各委員、積極的にイベントを企画することを確認した。

5. 会計報告

水波 Treasurer ならびに事務局（牛島）より予算状況の報告があった。予算資料は途中報告であり、収入実績は 2015/1/1～6/13、予定は 6/13～12/31 までの値を示している。備考欄に、今年に限り JC からの 10%還元分がある旨を明記することとなった（→事務局で対応済み）。

6. 福岡支部学生研究奨励賞について

北須賀 Student Activities Committee Chair より募集要項の案が提示された。英語論文、英語プロシーディングス、英語発表、など、条件が明確になるよう文面を再検討することとなった（修正後、メールにて回覧&承認を行う）。特に、募集要項案における表彰対象者(B)の記述。基本的には、1) 国際会議／ワークショップ／シンポジウムに投稿した 2) 英語論文の著者であり、3) 本人が英語で発表していることが条件となる。Web での公開は 8 月下旬を予定。また、以下のようなコメントがあった。

- 学生募集の際、組織の名前が変わっている場合があり、確認が必要（事務局に要相談）。
- IEEE 主催・共催・協賛のチェックの手間を省ける工夫をした方がよい。
- 日本語募集要項の「指導教員の所見」にて、「必ずしも記入する必要はありません」という記述があるが、削除する方向で検討。

7. 福岡支部発表奨励賞について

井上 Secretary より募集要項案が提示され、承認された。基本的には昨年と同様。表彰状の手配や文章のチェックは北須賀 Student Activities Committee Chair に依頼。6 月 22 日を目処に、ホームページにて募集要項を公開する予定。

8. その他

● 役員一覧の更新

井上 Secretary より Computer Society の役員が決定したむねの報告があった。内田誠一 Chair@九大、吉田和幸 Vice Chair@大分大、天野浩文 Secretary@九大、小野貴継 Treasurer @九大。

- IEEE ICCEM2017 について

横田 AP-S Chair より ICCEM2017@熊本に関するお知らせがあった。

- 旅費の規程について

事務局（牛島）から、2015 年第 1 回理事会で議題となった「市内の移動費を含んだ旅費規程の策定」に関する案が提示され、承認された。資料 2 ページ目の各大学キャンパスからの交通費に関しては一部誤りがあったため、修正し後日確認することとなった（→事務局で修正済みであり、最新版を IEEE Fukuoka Section ホームページ→役員用ページ→理事会資料、にアップ済み）。

9. 次回の理事会について

2016 年 1 月 30 日（土）12:00～

場所は ISIT 会議室を予定。

出席者（敬称略）：15 名

福田 (Chair), 勝木 (Vice-Chair), 水波 (Treasurer), 井上 (Secretary), 福永 (Past-Chair), 中島 (MDC), 石塚 (PAC), 北須賀 (SAC), 川崎 (CPC), 木村 (CAS), 内田 (C), 横田 (AP), 仁木 (EMB), 黒川 (PEL), 牛島 (事務局)

欠席者（敬称略）：2 名

岡田 (NC) , 窪寺 (PHO)

以上。